

2014年2月7日

北海道開発局長 澤田 和宏 様

北海道開発局室蘭開発建設部長 戀塚 貴 様

(一般社団) 北海道自然保護協会 会長 佐藤謙
十勝自然保護協会 共同代表 安藤御史・佐藤与志松・松田まゆみ
富川北一丁目沙流川被害者の会 代表 中村正晴
平取ダム建設問題協議会 代表 松井和男
苫小牧の自然を守る会 代表 館崎やよい
イテキ・ウエンダム・シサムの会 代表 佐々木義治
胆振日高高校退職教職員の会 代表 高橋 守
自然林再生ネットワーク 代表 前田菜穂子

ダム堤体建設工事用道路建設を含む平取ダム建設に関する質問その4

貴職から、私たちの2013年11月19日付要望書に対する12月9日付ご回答をいただきました。その回答を検討した結果、貴職の動植物に対する環境保全措置についての回答およびアイヌ文化問題に対する回答について、私たちの質問に実質的に回答されていないと判断し、引き続き質問書を提出いたしますので、明解にお答えいただくようよろしくお願い致します。

ご回答は、2月23日までに事務局を担当している北海道自然保護協会へ送付願います。

送付先：〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目 加森ビル6F 一般社団法人北海道自然保護協会 電話：011-251-5465 FAX：011-211-8465

質問事項

1. ハヤブサの環境保全措置

ハヤブサの環境保全措置について、私たちは、以下の3点について見解を伺いました。

- (1) ハヤブサのモニタリングをどのように実施し、影響を最小化する内容を含んで、どのような保全措置を講じているのか。
- (2) モニタリング調査結果と保全措置の公表をどのように行おうとしているのか。
- (3) 専門家の指導や助言は、どのようなものであったか。それらを貴職はどのように踏まえて、どのように具体的な保全措置と結びつけたのか。

しかし、貴職の回答は具体性のないもので、どのような環境保全措置をとっているのか理解できません。そこで、改めて質問をします。

- (1) どのようにモニタリングを実施しているのか、ハヤブサの行動には変化があるのかわからないのか、変化があれば環境保全措置を検討しているのかどうかなど、最新の詳細な情報を具体的に示してください。
- (2) 専門家からモニタリング結果に基づいて指導や助言があったのか、もしあったとすればどのような内容なのかを示してください。

2. エゾサンショウウオの環境保全措置

私たちの質問は下記の2点でした。

(1)具体的に、どの場所にどのように湿地を確保するのか、あるいは、確保したのか。

(2)専門家の指導や助言は、どのようなものであったか。それらを貴職はどのように踏まえて、どのように具体的な保全措置と結びつけたのか。

しかし、この質問に対する貴職の回答は、環境保全措置についての考え方を述べたにすぎず、具体的な保全措置を説明する回答になっていません。そこで改めて以下の3点について質問します。

(1)モニタリングによって湿地を確保することを決めたのかどうか。

(2)湿地を確保することにした場合には、新たな湿地の候補地を検討したのかどうか。

(3)モニタリング結果について専門家の指導や助言があったのかどうか、もし指導や助言があったとすれば、その内容を具体的に示してください。

3. 希少植物の環境保全措置

私たちは、以下の2点について質問をしました。

(1)種ごとに、どのような生育適地にどのように移植したのか、播種したのか、あるいは、今後、種ごとにどのように移植するのか、播種するのか。

(2)学識者の助言等は、どのようなものであったか。

しかし、以上の質問に対する貴職の回答は、「表 4-3-8 に沿って移植を実施しております」と述べるにとどまり、実際に環境保全措置を行っているかどうか、理解できないものでした。

以下に、樹林、岩場、草地（以上について、植生生態学的には本来、それぞれ森林、崖地群落、草原と表現すべきである）の3つの植物群落（生態系）の特徴についての私たちの考え方を示します。現在までにモニタリングをした植物種についてどの植物群落・生態系に属するもので、どのような視点を重視したのか、またこのことについて学識経験者の助言がどのような内容であったのか、具体的に示していただきたいと考えています。

樹林内に生育する種の措置について（表 4-3-8（1）：実施条件の中で「移出候補種の生育地環境調査をもとに樹林を確保する」とあるように、特に移出候補種数の多い樹林地内に生育する種はそれぞれ生育地特性が異なり、一様に樹林内に移植するだけでは保全が難しい。樹林地の環境は一様ではなく、林内と林縁、樹冠下ギャップ内、斜面の方位や上部と下部、尾根と沢の間でそれぞれ光や土壌などに関して物理環境が異なっており、それぞれの物理環境に適応した種が生育している。

ホザキシモツケは湿地林のギャップ種であり、ヤマネコノメソウ、ヤマシャクヤクとオオサクラソウは湿潤な林内に生育する。また、カタクリは光条件の良い南向き斜面に生育する。移植や播種の際、このような種ごとの生育地特性にどのように配慮し、種ごとの生育地をどのように確保するのか。

岩場に生育する種の措置について（表 4-3-8（2））：ソラチコザクラは、日当たりの良い崖地の岩肌をつねに水が滴るような湿潤環境が常に維持されなければ生育できない、被陰と乾燥に極めて弱い種である。また、同種は肥沃な土壌条件を嫌うことから崖地を選び、病害性の土壌微生物に対する耐性も低いのではないか。このような種の生育適地をどのように確保するのか。

草原に生育する種の措置について（表 4-3-8（3））：候補種の移出予定先の草原は不安定な生態系であり、二次遷移の進行によって数年後にも樹林化する可能性がある。移出種を保全していくために必要な草原を維持する方法が計画に示されていない。どのように草原を維持するのか。』

以上のことを踏まえて以下の6点について質問します。

- (1)現在までにモニタリングを行った種について示してください。
- (2)現在までに環境保全措置を行った種について示してください。
- (3)現在までにモニタリングや環境保全措置を行っていない種についてのモニタリングや環境保全措置をいつまでに行うのか、示してください。
- (4)移植や播種が成功したかどうかの判断基準を示してください。
- (5)移植は播種に失敗した事例があれば示してください。
- (6)モニタリングおよび環境保全措置を行ったことについて学識経験者からの指導や助言があったのかどうか示してください。また指導や助言があった場合については、種ごとに示してください。

4. アイヌ文化保存問題と治水対策

標記に関する3点について、私たちの前回の質問と貴職の回答は、以下のとおりです。しかし、貴職の回答は私たちの問いに答えず、まことに不明確であるので、以下の再質問に明解な回答を願います。

質問1：平取ダム建設がアイヌ民族の文化享有権を侵害するのではないかと私たちの疑問に明解にお答えください。

回答1：アイヌ文化継承に資する必要な措置を行うこととしており、「平取ダム地域文化保全対策検討会」を設置し、アイヌ民族の精神文化や生活文化等に対する保全対策の具体化に向けた調査検討を進めています。

再質問1：

- (1)「アイヌ民族の精神文化や生活文化等に対する保全対策の具体化に向けた調査検討を進めています。」という回答は、「平取ダム建設がアイヌ民族の文化享有権を侵害するかどうかを検討している」と理解しましたが、その理解でよろしいでしょうか。
- (2)パブリックコメントにおいて、多くのアイヌ民族の方々が、「チノミシリを水没させないでほしい、そのために平取ダム建設ではなく、河川改修による治水対策をしてほしい」と述べています。そこで、「アイヌの方々が、平取ダム建設はチノミシリを水

没させると懸念している」ことについて、水没させるのか、水没させないのか、またアイヌの方がたの懸念は心配ないのかどうか、ご回答ください。

質問2：「開発局は、アイヌ文化を保全できる河道改修はダム建設に比べて約200億円費用がかかるのでダム建設案を採用したと述べているので、「アイヌ民族の文化の価値は200億円以下なのか、具体的に金額で示すどの程度の価値なのか」と質問したことに貴職は答えていません。そのため、「アイヌ民族の文化享有権は国際規約にも認められた重要な権利であり、それを守りながら治水を行なう可能性がある」のに、それを行わない根拠を明確に示してください。

回答2：平取ダム建設については、多くの立案を検討して、平取ダムを含む案が最も有利な案としています。

再質問2：

(1)平取ダム建設は、国際的にも認められたアイヌ民族の文化共有権を損なわないとお考えなのか、損なうとお考えなのか、お聞きします。損なわないとするならば、その根拠をお教えてください。また、この質問に具体的に回答できない場合は、その根拠をお示してください。

質問3：「河道掘削策はアイヌ文化保全のための極めて有効なもの」であるため、河道改修で額平川と貫気別川の水が可能である観点から、以下の質問をした。

- (1)二つの河川の合流点より上流で2003年台風時に氾濫がなかったのに、なぜ大量の河道掘削を行うのか。
- (2)2003年台風時に額平川の氾濫がなかったのになぜダムを建設するのか。
- (3)チノミシリの水没を避けるために河道改修をなぜ採用しないのか。

回答3：平取ダム建設は、河道の整備とあわせて計画高水位以下で流下させることを目標としています。

再質問3：この回答も私たちの質問に答えていません。そこで、河川整備計画の基礎となっている2003年8月に現実に起きた水害について質問します。

- (1)額平川における水害（破堤を含む氾濫による被害）について具体的にお教えてください。また、もし破堤があれば、具体的にその場所をお教えてください。
- (2)貫気別川における水害について具体的にお教えてください。また、もし破堤があれば、具体的にその場所をお教えてください。
- (3)額平川と貫気別川合流点の頭首工が氾濫の原因であり、頭首工をより下流に下げることによって氾濫を防ぐことができるというパブリックコメントに対する考えをお示してください。
- (4)2003年8月の二風谷上流の水害を防ぐために、具体的にどのような考えに基づき、どのような具体的な方策を作成したのかについて、お示してください。